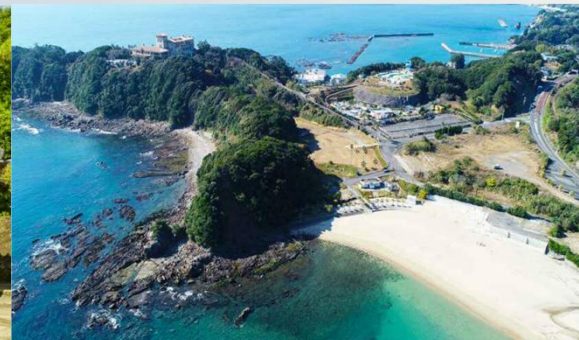


志布志市の魅力ポイント

■面積 290.21km² ■人口 約2.8万人 ■指定地域 半島・過疎

- 鹿児島県東部の大隅半島に位置し、**海、山、川などの豊かな自然**に囲まれる。
- 薩摩藩統治時代の面影を残す武家屋敷や、神社仏閣などの文化的な香りが溶け込む一方で、海岸部には亜熱帯性の植物も繁茂し、南国の雰囲気を感じられる。



- 温暖な気候とミネラルたっぷりの豊かな水に恵まれ、ウナギの養殖、お茶、黒牛、黒豚、焼酎等の生産が盛んな**食材の宝庫**。ウナギの生産量は国内No.1の鹿児島県の中で約半分のシェアを占める。
- 豊富な地場産品を活かし、2023年の**ふるさと納税総額は県内No.1!**

- 冬春ピーマンの指定産地であり、**地域ぐるみで新規就農を支援**。農業公社の研修プログラムを活用し、2021年までに延べ136名が修了、このうち約7割が定着している。



- 南九州地域の物流拠点であり、**九州で唯一の国際バルク戦略港**に選定された志布志港が存在する。
- 日本で一番「志」の字が多い「志」あふれる市!

志布志市の課題・取組状況

■ 政策分野 産業振興・人口減少対策

■ 志布志港の更なる輸出拡大

【現状】 輸入に対して輸出が少ない。

(2024年の輸入額は約1,953億円、輸出額は約417億円)

【取組】 地場製品のブランド力を確立し、産直港湾を目指して輸出販路拡大を目指す。

■ 人口減少による地域の担い手不足

【現状】 現在の約3万人から、2040年には2.2万人になるという推計。

(高齢化率も36.1%→41.0%に)

【取組】 移住定住の促進や新規就農者への支援の他、拠点施設の整備、首都圏でのPR活動を行う。

応援隊の活動報告

● 月に一度のヒアリング（オンラインと対面）

→ 現状共有と課題解決に向けたディスカッションを実施。また、国の施策や他自治体の施策を提案。

● 現地視察（九州農政局鹿屋駐在所と連携）

→ 市の関係部局をはじめ、新規就農拠点や国交省港湾事務所などでの意見交換を実施したほか、港のコンビナートや茶の加工工場を視察し、地域の課題について整理。

■ 今後の方針

現地への訪問だけでなく、首都圏で開催されるPRイベントに参加するなど、地域外での取組を支援するとともに、志布志市とのコミュニケーションを継続し、支援事業の提案や先進事例の紹介等を行う。